

# 防災あいずみ

令和4年7月15日発行 第37号

発行元：藍住町総務企画課危機管理室

電話637-3111

## 早め早めの行動を

今年も台風や前線の影響による大雨・洪水・暴風・高潮などの自然災害が発生しやすい季節となりました。台風や大雨の時は、ハザードマップを確認するなどし、早めに防災対策・避難行動を行いましょう。

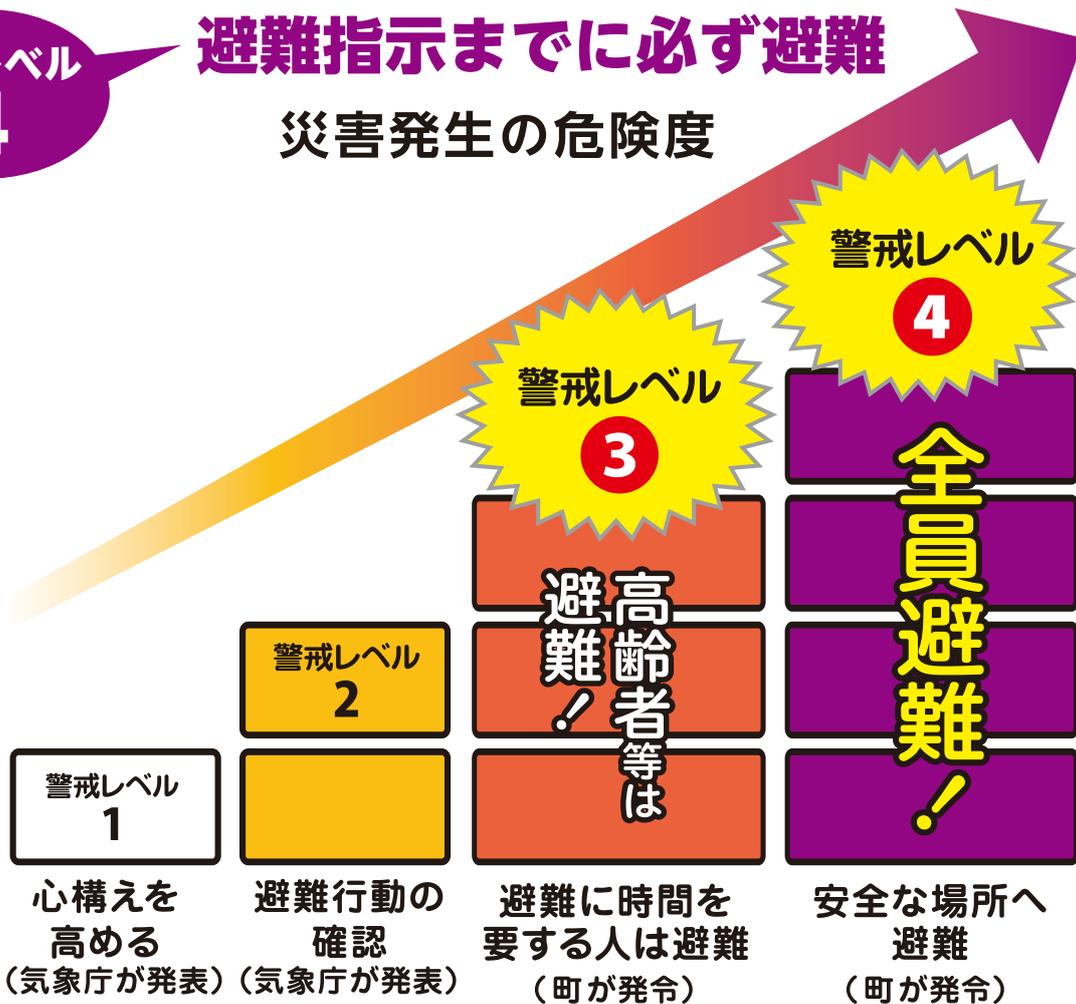


また、「避難」とは、難を避けることで、避難所である小中学校へ行くことだけが避難というわけではありません。大規模な災害では避難所に人が集まり、密になる可能性もあります。安全な地域にお住まいの親戚・知人宅や安全なホテル・旅館への避難を検討するなど、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、普段からどう行動するか決めておきましょう。

警戒レベル  
**4**

## 避難指示までに必ず避難

災害発生危険度の危険度



[警戒レベル**5**] (町が発令) は既に災害が発生している状況です。

## 3年ぶりに開催

6月5日(日)、町民一斉避難訓練を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響のため、3年ぶりとなりましたが、1,085名の多くの住民の皆さんに参加していただきました。

今回は、大雨を想定した避難訓練で、避難所までの危険箇所の確認や避難所内での垂直避難、避難所の資機材の体験、救命救急・AEDの実演、婦人会による炊き出し訓練など、参加者の皆さんに実際の災害時さながらに取り組んでいただきました。

10月には、町民体育館で総合防災訓練の開催を計画していますので、ぜひご参加ください。今後も様々な訓練など、町民の皆さんの防災力が向上する取組を継続していきたいと考えています。



徒歩での避難



避難所用間仕切りの展示・使用体験



婦人会による炊き出し訓練



救命救急の実演

## 防災について家族で話し合おう

地震や火災、風水害が発生した場合に備えて家族全員で話し合い、連絡方法や役割分担などを確かめましょう。



### 1 家族との連絡方法を確かめましょう！

- 外出している家族との連絡方法を確認
- 災害用伝言ダイヤル「171」の使用方法を確認



### 2 避難場所・避難経路を確かめましょう！

- 家の中の避難経路の確認
- よく行く量販店やスーパーなどの避難経路の確認
- 近所の避難場所の確認



### 3 家族の役割分担をしましょう！

- 非常持ち出し品の定期的なチェック
- 生活用水・飲料水の確保
- お年寄りが同居する場合、介助の仕方を考えておく

### 4 子どもだけで留守番をしているときに地震が起きたら？

共働きのご家庭や、ちょっとそこまでお買い物の時に子どもだけでお留守番をさせる場合など、家で子どもだけになってしまう場合は多々考えられます。万が一に備えて、子どもたちにもしっかり教えておきましょう。

#### ●自分の身の守り方

- ・机の下に隠れて、椅子の足をしっかりつかむ
- ・布団などで頭部を守る

#### ●火の始末の仕方

- ・ガスの元栓を閉める
- ・電気器具のプラグを抜きブレーカーを切る
- ・消火器の使用方法を確認

#### ●出口の確保

- ・ドアを開けたら椅子などで押さえておく

#### ●避難場所、避難経路の確認

- ・家族で話し合い、避難場所・避難経路の確認をしておく

#### ●非常持ち出し品の確保

- ・子どもが持ち出せる分だけ、子ども用のリュックに準備しておく

#### ●連絡方法

- ・親、親戚、友人などの連絡先をメモしておく



## 気象観測システム「POTEKA (ポテカ)」

町内の気象情報を町民の皆さんに利用してもらうため、気象観測システム「POTEKA (ポテカ)」を総合文化ホール屋上に設置しました。

町内のリアルタイムの気象状況を、スマートフォンやパソコンで誰でも気軽に見ることができます。

災害への備えや熱中症対策、外出・イベント時の天候確認、農作物の管理など幅広く活用していただくことができます。

身近な気象情報を皆さんの生活にご活用ください。

### 閲覧できる気象情報

天気、気温、湿度、気圧、風向、風速、日射、雨量、降雨強度、暑さ指数

### 閲覧方法

- スマートフォンアプリ



無料アプリ「My POTEKA」  
ダウンロードはこちらから



- インターネットサイト

<https://www.meisei.jp/poteka/>

ポテカ

検索

## 令和4年第1号「小塚団地自主防災組織」結成！



会長 坂東 信宏さん

大地震などの大規模災害による被害を防止し、軽減するためには、日頃から一人一人が防災活動に積極的に参加するなどの地域住民による組織的な活動を行うことが大切です。

このようなことから、総務企画課危機管理室では本町の防災体制の充実、強化のため、自主防災組織の結成促進及び活動の活性化を図り、地域防災力を強化するとともに、災害に強いまちづくりを推進しています。

—昨年からの小塚団地住民の皆さんへの自主防災組織の結成手引きの配布及び防災アンケート調査を実施し、団地内の意見を取りまとめました。

その後、小塚団地集会所で地区住民への結成出前講座を開催し、令和4年4月17日に坂東信宏会長の下54世帯の組織として、小塚団地自主防災組織が結成されました。

今後は、各種防災器材等の整備、防火・防災知識の普及啓発、地域の安全点検、防災訓練の実施などの様々な活動を行い、小塚団地地区を中心とした「自分たちの地域は、自分たちで守る」という共助理念のもと、家族や隣近所がお互いに協力し合い、地域が一体となった、災害に強い地域づくりが期待されます。